

# Newsletter

— 学 会 会 報 —

The Japanese Society for Curriculum Studies

発行：日本カリキュラム学会事務局

## 〈目 次〉

〈代表理事挨拶〉

〈理事会報告〉

〈総会報告〉

I 第 21 回大会年度(2010 年度)決算報告

II 第 22 回大会年度(2011 年度)活動方針

III 新体制について

IV 第 23 回(2012 年)大会開催校について

V 年会費の値上げについて

〈第 22 回大会報告〉

〈新役員〉

〈学会誌第 21 号論文原稿募集〉

〈学会誌第 20 号における誤植の訂正〉

〈事務局からのお知らせ〉

## — 〈 代表理事挨拶 〉 —

引き続き代表理事を引き受けることになりました水原克敏です。今年度は 3.11 の大震災と原発事故と打ち続く余震、研究室の崩壊と長期の断水と停電に見舞われ、東北大学の学会事務局は 2 か月に渡って麻痺状態に陥りまして、大変ご迷惑をおかけしました。

さて、カリキュラム学会についてですが、ここ 3 年間、代表理事を担うことで、私なりに課題が見えてきました。第 1 には、学会事務局の事務の近代化です。700 名の規模となった今日、より合理的で透明なシステムにする必要があります。しかし、学会事務局の構成員を整えること自体が難しい状況にありますので、学会事務を外部委託したいと思います。これが整理されますと、優れた会員が代表理事に就くことができるようになります。

第 2 は、カリキュラム学会編纂の事例集を出していきたいと思います。各学校で創出したカリキュラムの事例集を編纂することで、学校現場の実践と研究に貢献することができ、日本カリキュラム学会の存在理由を打ち出すことができると思います。

第 3 は、本学会編纂のカリキュラム事典を改訂することです。2008 年度に新学習指導要領が出され、かつ、新しいカリキュラム理論の動向もありますので、最近 10 年間の研究成果を入れた新しいカリキュラム事典を編纂したいと思います。

以上 3 点について、会員の皆様のご協力をお願いします。 [東北大学・水原克敏]

## —— 〈 理事会報告 〉 ——

**[2011年7月15日(金) 17:00~19:00 (於) 北海道大学教育学部3階会議室]**

定例理事会が7月15日(金)17時から19時まで、北海道大学教育学部3階会議室で開催されました。理事15名、および事務局2名が参加しました。水原克敏代表理事挨拶の挨拶に続き、下記の議題を審議・決定いたしました。その後、大会開催校の大野栄三大会実行委員長の挨拶にて理事会を締め括りました。

### I. 審議事項

#### (1) 総会議事について

① 2010年度活動報告・決算(案)および2011年度活動方針・予算(案)について  
標記について、承認された。詳細は、後掲「〈総会報告〉」に掲載。

#### ② 年会費の値上げについて

代表理事より、年会費値上げの緊急動議が提案された。審議の結果、一般会員の年会費を6000円から8000円、学生会員の年会費が3000円から5000円とし、総会に提案することが承認された。

#### ③ 会員資格の事務処理上の取り扱いの見直しについて

前回の理事会で承認された下記3点を再確認し、総会に提案することが承認された。

- i) 現状の会員資格停止条件について
- ii) 会員総数の表示方法について
- iii) 新・会員資格事務処理上の区分について

#### (2) 次期大会開催校について

次年度の第23回大会は、西日本の当番であり、中部大学で開催することが承認された。

### II. 報告事項

#### 1. 各種委員会報告

##### (1) 紀要編集委員会(臼井嘉一委員長・的場正美副委員長)

『カリキュラム研究』第20号発刊の報告があった。『同』第20号において印刷の段階で岡部会員の論文に誤植が発生した件に関して、その対応についての報告があった。

##### (2) 国際交流員会(浅沼茂委員長)

課題研究Ⅳについて検討を行ったことと、予算獲得のため科研費への申請を行ったが、今回は不採用であったことが報告された。

### (3) 広報委員会（村川雅弘委員長）

「カリキュラム実践研修講座」（仮称）開催に関して、連携先の教育センターと研究テーマを相談し「防災教育カリキュラム」とする旨の提案がなされた。

### (4) 研究委員会（豊田ひさき委員長）

3月26日開催の第2回研究集会について盛会のうちに終了したことが報告された。

### (5) 研究奨励賞審査委員会（臼井嘉一委員長・的場正美副委員長）

選考の結果、本年度は該当者無しであった旨が報告された。

## 2. 事務局報告

昨年度末で新規停止扱いとなった会員を含め、会員現況と寄贈図書の報告を行った。

### ・寄贈図書一覧（2011年3月から2011年7月事務局到着分）

	書名	著者	出版社	奥付日付
1	日本生活科・総合的学習教育学会誌『せいかつか&そうごう』第18号	日本生活科・総合的学習教育学会		2011年4月12日（寄贈日）
2	歴史教育とジェンダー 教科書からサブカルチャーまで	長野ひろ子・姫岡とし子 編著	青弓社	2011年2月25日
3	活用型学力を育てる授業づくり 思考・判断・表現力を高めるための指導と評価の工夫	木原俊行	ミネルヴァ書房	2011年4月20日
4	香川大学 『教育実践総合研究』第22号	香川大学		2011年3月
5	東京学芸大学・教員養成カリキュラム開発研究センター 『研究年報』Vol.10	東京学芸大学・教員養成カリキュラム開発研究センター		2011年3月
6	現代アメリカにおける学力形成論の展開 スタンダードに基づくカリキュラムの設計	石井英真	東信堂	2011年2月
7	東海大学 『東海大学紀要』第18号	東海大学		2011年3月
8	東海大学教育開発研究所 『Education Development 教育開発』Vol.4	東海大学教育開発研究所		2008年
9	学校を変える力 イースト・ハーレムの小さな挑戦	デボラ・マイヤー 著 北田佳子 訳	岩波書店	2011年3月
10	生活綴方教師 宮崎典男の授業づくり	豊田ひさき	一茎書房	2011年5月11日
11	教科書の中の宗教 この奇妙な実態	藤原聖子	岩波新書	2011年6月

[2011年7月16日(土) 12:30~13:00 (於) 北海道大学学術交流会館第4会議室]

新理事会が7月16日(土)12時30分から13時まで、北海道大学学術交流会館で開催されました。理事18名、および事務局1名が参加しました。議長選出、選挙管理委員会報告に続いて、下記の議題を審議・決定いたしました。

## I. 代表理事の選出について

代表理事選挙の開票結果に基づき、水原克敏理事(東北大学)が選出され、承認された。推薦理事、事務局長、事務局体制、および各種委員会委員長については、新代表理事のもとで今後検討をする。

## II. その他

次回の定例理事会は11月5日(土)に実施予定である。

# —— 〈 総会報告 〉 ——

2011年7月17日(日)、12時20分から13時30分まで、北海道大学学術交流会館講堂において、大野栄三会員(北海道大学)、豊田ひさき会員(中部大学)を議長団として、総会が開催された。これにおいて、7月15日(金)の理事会で承認された議案が、すべて承認された。

## I. 第21回大会年度(2010年度)活動報告

### (1) 一般活動報告

#### ①現況概要(2011.7.10現在)

会員総数 933名(一般会員636名、学生会員93名、団体会員9件)

※うち、連絡先不明10名および会員資格停止者195名を含む

会費納入状況:当該年度分の納入率63.6%(昨年度72.1、一昨年度71.2)

②第21回大会報告:参加者約320名。会報第53号にて既報。

③学会誌『カリキュラム研究』第20号発行。

④会報第53、54、55号発行。

⑤学会研究奨励賞選考結果

⑥会員勧誘の結果(2010年度内)

新入会員43名(参考:昨年度46名、一昨年度33名)

⑦研究集会の開催

⑧学会誌『カリキュラム研究』のリポジトリ

⑨その他

(2) 決算報告 (2010年4月1日～2011年3月31日)

収入の部		
項目	予算額(円)	決算額(円)
学会年会費	3,700,000	3,122,000
入会金	80,000	76,000
学会誌代・雑収入・利子等	50,000	69,208
寄付	0	20,000
前年度繰越金	1,882,632	1,882,632
合計	5,712,632	5,169,840
支出の部		
項目	予算額(円)	決算額(円)
第21回大会経費	800,000	800,000
第20号紀要刊行費	600,000	328,800
学会研究奨励賞費	0	0
印刷費(会報・封筒・名簿等)	300,000	353,983
通信費	500,000	426,040
会合費(含む交通費)	650,000	854,174
事務局人件費	800,000	459,052
消耗品費(含む雑費)	100,000	23,790
財)日本学術協力財団賛助会費	50,000	50,000
理事選挙・代表理事選挙実施費	250,000	81,500
各種委員会経費		
紀要編集委員会	300,000	235,236
広報委員会	50,000	0
国際交流委員会	200,000	200,000
研究委員会	50,000	64,000
学会奨励賞審査委員会	150,000	0
(小計)	750,000	499,236
予備費	300,000	330,320
次年度繰越金	612,632	962,945
合計	5,712,632	5,169,840

## II. 新体制について

理事選挙結果報告と代表理事選挙結果報告がなされた。新役員の体制の詳細は、後掲参照。その他、会計監査に関して、桐谷正信会員（埼玉大学）は留任、佐藤真会員（兵庫教育大学）の後任には吉富芳正（国立教育政策研究所）が選出された。

## III. 第22回大会年度（2011年度）活動方針

### (1) 一般方針

- ①年次大会（第22回大会）の実施
- ②第23回大会の準備

- ③学会誌『カリキュラム研究』第 21 号発行
- ④学会研究奨励賞
- ⑤研究集会の開催
- ⑥会報、その他の広報活動（実践研修会）
- ⑦会員勧誘、会費納入促進活動
- ⑧会員資格の事務処理上の取り扱い見直し
- ⑨その他

(2) 第 22 回大会年度予算（2011 年 4 月 1 日～2012 年 3 月 31 日）

#### 収入の部

項目	予算額（円）	備考
学会年会費	3,700,000	
入会金	80,000	40 名
学会誌代・雑収入・利子等	150,000	
寄付	0	
前年度繰越金	962,945	
合計	4,892,945	

#### 支出の部

項目	予算額（円）	
第 22 回大会経費	650,000	
第 21 号紀要刊行費	600,000	
学会研究奨励賞費	0	今年度該当者なし
印刷費（会報・封筒・名簿等）	300,000	
通信費	500,000	
会合費（含む交通費）	650,000	
事務局人件費	800,000	
消耗品費（含む雑費）	100,000	
財）日本学術協力財団賛助会費	50,000	
理事選挙・代表理事選挙実施費	100,000	選挙管理委員会会合費
各種委員会経費		
紀要編集委員会	300,000	
広報委員会	100,000	（仮）冬期研究集会の実施
国際交流委員会	100,000	
研究委員会	100,000	研究集会の充実
学会奨励賞審査委員会	150,000	
（小計）	750,000	
予備費	150,000	
次年度繰越金	242,945	
合計	4,892,945	

#### IV. 第 23 回 (2012 年) 大会開催校について

豊田ひさき会員を中心として、中部大学にて開催されることが報告された。

#### V. 年会費の値上げについて

本学会の会員規模の拡大に伴い、従前の年会費の額では学会の体制を維持するのが困難になってきたことや、研究集会や冬季研究集会（仮）等の学会活動の活性化を促進することなどを理由に、一般会員の年会費を 8000 円、学生会員の年会費を 5000 円にすることを決定した。特に学生会員に関しては毎年度、学生証の照合を徹底することを確認した。

なお、変更後の年会費は第 23 回大会（2012）年度より適用することとなった。

### —— 〈 第 22 回大会報告 〉 ——

日本カリキュラム学会第 22 回大会を 7 月 15 日から 17 日にかけて北海道大学で開催いたしました。東日本大震災があり、現地実行委員会では一時は中止を考えましたが、学会事務局のご判断で予定どおりの開催となりました。

大会参加者は 165 名となり、昨年までとくらべて大きく減りました。震災の影響のほか三連休と重なり交通手段や宿の確保が難しかったのかもしれない。北海道大学で会場を確保するには 2 年以上前から予約が必要で、日程が 7 月中旬となることについては事務局に伝えていたのですが、なかなか難しいものだと思います。しかし、自由研究発表は昨年よりも増えて 69 件となり、密度の濃い大会を盛会のうちに終えることができたと考えております。

今大会の課題研究は、昨年からの継続 2 件：「カリキュラム・マネジメントに関する研修プログラム（その 2）」「カリキュラムにおける公共性のポリティクス（2）」と、「研究開発学校における評価のあり方」「国境を越える基礎・基本の学力」のあわせて 4 件のテーマで実施されました。

公開シンポジウムは、「カリキュラム研究のこれからと教科教育研究」をテーマに、カリキュラム研究と教科教育研究という 2 つの分野の相互理解と協働の可能性を、算数・数学と理科を具体例として討論いたしました。

大会を無事に終えることができたのは、会員の皆様の協力のおかげです。手伝ってくれた大学院生、学生のみなさん、準備にあたってきた実行委員にも、あらためて心より御礼を申し上げます。

[北海道大学・大野栄三]

—— 〈 新役員 〉 ——

任期：2011年7月第22回大会（北海道大学）より、2014年第25回大会総会まで

代表理事：水原克敏（東北大学）

理事（30名）：（五十音順、敬称略） ※は前理事から再任、○は推薦による理事

- |                  |                |
|------------------|----------------|
| ※浅沼 茂（東京学芸大学）    | 佐藤 真（兵庫教育大学）   |
| ※天笠 茂（千葉大学）      | ※澤田 稔（上智大学）    |
| 安藤輝次（奈良教育大学）     | ※田中耕治（京都大学）    |
| ※池野範男（広島大学）      | ※○豊田ひさき（中部大学）  |
| ※磯田文雄（文部科学省）     | ※長尾彰夫（大阪教育大学）  |
| ※臼井嘉一（国士舘大学）     | ※○中野和光（美作大学）   |
| ※○大野栄三（北海道大学）    | ○千葉カリキュラム学会    |
| 片上宗二（安田女子大学）     | 西岡加名恵（京都大学）    |
| 金馬国晴（横浜国立大学）     | ※橋本美保（東京学芸大学）  |
| ※工藤文三（国立教育政策研究所） | ※松下佳代（京都大学）    |
| 倉本哲男（佐賀大学）       | ※的場正美（名古屋大学）   |
| ※小泉祥一（東北大学）      | ※水原克敏（東北大学）    |
| ※子安 潤（愛知教育大学）    | 三石初雄（東京学芸大学）   |
| 近藤孝弘（早稲田大学）      | ※○村川雅弘（鳴門教育大学） |
| ※佐藤 学（東京大学）      | ※八尾坂修（九州大学）    |

顧問：（五十音順、敬称略）

安彦忠彦（早稲田大学）

田中統治（筑波大学）

監査：桐谷正信（埼玉大学）【再任】、吉富芳正（国立教育政策研究所）

※事務局の体制につきましては、11月の理事会後に発行する次号会報でお知らせします。



—— 〈 学会誌第 21 号論文原稿募集 〉 ——

学会誌『カリキュラム研究』第 21 号（2012 年 3 月発行予定）の論文原稿を募集しています。論文投稿の締め切りは本年 9 月末日（当日消印有効）、投稿原稿の送付先は以下の通りです。第 20 号巻末の【投稿要領】等を熟読の上、奮ってご投稿ください。

なお、投稿にあたり年会費をご完納いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

※投稿原稿の宛先は以下の通りです

〒980-8576

仙台市青葉区川内 27-1

東北大学大学院教育学研究科内

日本カリキュラム学会 事務局

「カリキュラム研究」編集委員会 宛

—— 〈 学会誌第 20 号における誤植の訂正 〉 ——

『カリキュラム研究』第 20 号において、誤植がありました。この誤植は著者が校正していない部分の誤植であり、著者にはなんら責任がありません。編集委員会として万全のチェックをしていなかったことをお詫び申し上げます。

正誤表のお知らせと共に訂正用シールを同封します。10 頁の図 2 の部分に訂正用シールをお貼りください。

日本カリキュラム学会紀要編集委員会 委員長  
白井嘉一

正誤表

頁	行・図	誤	正
10	図 2 ②高卒時の進路別	系列の専門科目で学んだ知識や技術**	系列の専門科目で学んだ知識や技術
同上	同上	さまざまな自由選択科目で学んだ知識や技術**	さまざまな自由選択科目で学んだ知識や技術
同上	同上	高校在学中に取得した資格**	高校在学中に取得した資格+
同上	同上	** p<.10	+ p<.10

## —— 〈 事務局からのお知らせ 〉 ——

### I. 平成 23 年度（2011 年度）分の会費納入のお願い

大会も無事終了し、年度の半ばとなりました。今年度分の年会費が未納の方は、納入をお願いします。納入促進に会員みなさまのご協力をよろしくお願い申し上げます。年会費を滞納しますと、学会誌が送付されなくなりますと同時に、大会での発表資格・学会誌への投稿資格を失いますので、ご注意願います。

皆さまの会費納入状況は、宛名ラベルのお名前の下に記載しております。未納年度が記載されている方は、お早目のご納入をお願い申し上げます。なお、事務処理上、ラベル記載情報と実際の納入状況に、若干の行き違いが生じる可能性があります。その際は何とぞご容赦ください。

なお、事務局では、年会費について、通常通りでない処理の場合、以下の方針で処理を行っております。①年会費の年度指定がない場合や、年度指定があってもそれ以前に未納年度がある場合→未納年度の内、最も早い年度の年会費として処理。②すでに当該年度まで完納をいただき、さらにお振り込みがあった場合→次年度以降の会費として繰り越します。

会費納入状況につき、ご不明の点がございましたら、些細な点でも結構ですので、ご遠慮無く事務局までお問い合わせください。よろしくお願い致します。

（年会費：一般 6,000 円、学生 3,000 円、団体 10,000 円）

※但し 2012 年度以降、一般 8,000 円、学生 5,000 円、団体 10,000 円となります

### II. 事務局移転について

東北大学大学院教育学研究科内に設置しておりました事務局は、現在移転準備を進めております。新事務局の体制整備が完了し次第、事務局を移転し、会員の皆様に周知いたします。それまでは引き続き、下記で事務局業務を行いますので、お間違えのないようお願い致します。

〒980-8576

仙台市青葉区川内 27-1

東北大学大学院教育学研究科内

日本カリキュラム学会 事務局

TEL&FAX : 022-795-3755

振替口座番号 : 00880-0-69090

E-mail: jscs@nifty.com

URL : <http://homepage3.nifty.com/jscs/>